



特集

「AI活用人材育成プログラム」
導入

1

CAMPUS TOPICS

3

部活動・サークル活動

4

授業紹介

5

図書館だより

6

キャリアサポート

7

地域とのつながり

9

ネットの大学managara

10

INFORMATION

11



「AI活用人材育成プログラム」導入 変化する社会のニーズに応え、第4次産業革命を支える人づくり

学長よりメッセージ

新潟産業大学 学長 梅比良 眞史



私たちは新しい情報によって、さまざまなことを選び、自らを更新します。そしてこれらの社会も日々更新されます。産業界もビジネス環境の激しい変化に対応し、

私たちが新たな社会を育てるため、いま新潟産業大学は、通信教育課程を開設し、通学制でもBYODで学生一人ひとりが自分のパソコンをもつのは当然のこととして、それを活用して課題解決に取り組み授業を用意しています。

例えば今年度から導入した「AI活用人材育成プログラム」では、春学期には1講座64名の受講者（昨年度設置した通信教育課程と大学院を含める）のうち45名に修了証とオープンバッジが付与されました。

これからのサイバー仮想空間とフィジカル現実空間が高度に融合した「超スマート社会」を生き抜くために、新潟産業大学では文系とか理系とかの垣根を越えて世界を理解し、SDGsを自分事として考えて行動するための学びを用意しています。

データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもとに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務や、組織、企業文化を変革し、競争上の優位性を確立する、いわゆるDX、デジタルトランスフォーメーションが求められています。

そして、これからの社会はSociety 5.0だといわれています。IoT (Internet of Things) で全

「プログラム導入の経緯」

AIは近年テクノロジーが進歩し、人々の生活に身近なものとなってきました。しかし、日本ではAIを活用できるIT人材が2030年にはおよそ80万人不足すると言われています。このような課題を解決すべく、関西学院大学が日本IBM株式会社と完全オンラインのプログラム「AI活用人材育成プログラム」を共同開発しました。このプログラムは、2021年8月に内閣府・文部科学省・経済産業省による「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受け、多くの企業や自治体等へ導入されています。

本学では、このプログラムを他大学に先駆け通学制課程と通信教育課程「ネットの大学managara」の全学において、2022年春学期より導入しました。通信教育課程の学生も含め春学期は64名、秋学期は24名が受講しています。

AI活用は、地方創生などあらゆる分野の発展において必須ともいえる知識です。新しい時代感覚をもって企業経営や地域社会で活躍できるAI活用人材の育成に、本学は力を入れてまいります。

科目概要

① 入門科目

「AI活用入門」

AIに関わる技術や事例、ツール等を幅広く学び、基礎的知識・スキルをビジネスシーンで活用できるようにすることを目指します。

② 基礎科目

「AI活用アプリケーションデザイン入門」

AIの各機能（言語、画像、音声など）の概要や使い方、事例を中心に学び、それらを実際のビジネス現場で活用できるようにすることを目指します。

③ 基礎科目

「AI活用データサイエンス入門」

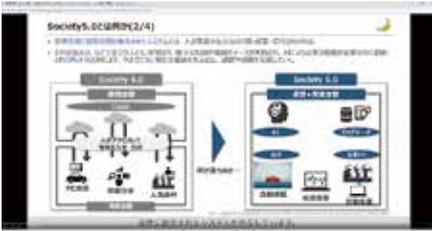
データサイエンスに関わる技術や事例、知識等を中心に学び、ソフトウェアを用いて実際のビジネス現場で活用できるようにすることを目指します。

2023年度より

実践科目

「AI活用機械学習プログラミング演習」

機械学習・深層学習に関する基礎的な知識を学び、それらの実装他のために必要な「Python」を用いたプログラミングスキルを習得することを目指します。



AI活用人材育成プログラム授業画面

特徴

★ AIに関する知識を身に付け、それを活用して諸問題を解決できる「AI活用人材」を目指すプログラムです。

初学者をターゲットに設計されているので、文系理系に関係なく取り組むことができます。

★ インターネット環境とパソコンがあれば受講することができます。オンデマンド型なので、理解できるまで何度も繰り返し学ぶことができます。

★ AIによるTA（ティーチング・アシスタント）チャットボットを導入しているので、いつでもどこでも講義に関する質問をすることができます。

★ 講義動画をすべて視聴しテストに合格することで、通学制課程・通信教育課程ともに単位として認定されます。

★ 各科目を修了すると、資格・スキル・能力を示す「修了証」と「オープンバッジ」（国際標準規格に則ったデジタル証明書）が発行されます。AI活用人材として、就職活動時のアピールにも繋がります。



「修了証」(上)と「オープンバッジ」(下)



受講学生の声

2名とも「AI活用入門」「AI活用アプリケーションデザイン入門」「AI活用データサイエンス入門」を受講

経済経営学科3年 浦澤 瑠音さん

① 受講した理由は？

私は大学卒業後IT関連の企業で働きたいと考えていて、AIの知識は仕事でも活かすことができそうだな、と思い受講を決めました。

② 受講した感想を教えてください。

普段聞きなれない専門用語が多く、少し難しいところもありましたが、だんだんと面白くなってAIに関する基礎的な知識が身に付いたと実感しています。これからプログラミングについても勉強して、スキルアップしていきたいです。

経済経営学科1年 田中 脩斗さん

① 受講した理由は？

先生から紹介されたことがきっかけです。部活をしているので、自分の空いている時間を使って柔軟に受講ができるところに魅力を感じました。

② 受講した感想を教えてください。

「AI」というとロボットやSiriだけだと思っていましたが、日常の中にAIは意外とたくさんあるということ、それが多くの仕事に活かされていることが分かりました。ここで身に付けた知識を、将来就職でも活かしたいと思います。



第34回「紅葉祭」開催

10月15日(土)に本学において「第34回紅葉祭」(学園祭)を開催しました。

令和4年度のスローガンは「燦化」。サンカと読みます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でさまざまなことに制限がある中、紅葉祭をおして輝いてほしい、素晴らしい思い出をつくってほしいという願いが込められた「燦化」です。

当日は晴れて紅葉祭日和となり、学生たちは模擬店(ハンバーグ、焼きそば、水餃子、牛串、豚汁、クレープ、ポツポ焼き、ベビーカーステラ、チョコバナナなど)やお茶会、ペットボトルボウリング、吹奏楽部の演奏、軽音楽部のライブ、写真部の作品展示、私の主張(学生によるスピーチ)など盛りだくさんのイベントを楽しんでいました。その他にも日頃の学修成果を発表する「ゼミナール発表会」や書道部の作品展示、メイנסテージでは軽音楽部のライブやビンゴ大会が行われました。

昨年に引き続き学内関係者のみでの開催でしたが、新型コロナウイルスの感染対策も万全に準備を進め、有意義な一日となりました。

開催したイベントをいくつか紹介します。

「私の主張in産大」

(スピーチコンテスト)
中国、ベトナム、インドネシアの留学生や日本の学生が参加しました。

「教え合うことから愛情が生まれる」「日本に来てから私はすべて変わりました」「地域社会と未来への希望」などの演題でスピーチが披露されました。来場者からは、「スピーチに信念があった」「とても心に届くスピーチでした」「発表している学生の姿がとても印象的でした」「大学生活がみんなにとって良い経験になっていると感じました」など、たくさん感想が寄せられました。



参加者のみなさん、おつかれさまでした!

「各種模擬店」

学内には美味しそうな食べ物を提供する模擬店がたくさんありました。

模擬店終了後に行われた「模擬店コンテスト」で優勝に輝いたのはハンバーグとご飯の「ひき肉とtomato」。惜しくも2位となった店舗は海鮮と牛串の「網焼き屋」。3位は「水餃子」、「けっちゃんの焼きそば」、ベビーカーステラとドリンクの「ナチュラルカフェ」でした。

「産大O×クイズ」

初の企画として1年生向けのイベントを開催しました。

産大に関する問題を出題し全問正解者には豪華景品が! また、参加者全員にも参加賞あり!という楽しい企画でした。

「産大の学内にある自動販売機の数はいくつ?」など楽しいクイズが出題されました。

「ビンゴ大会」

紅葉祭のメインイベントはビンゴ大会。数字が読み上げられるたびに、学生たちからため息や喜びの声が聞こえてきました。加湿器やパズル、バーベキューグリル、ホットプレート、高額なものはいすつちやアマゾンギフト券5万円分などさまざまな景品があり、会場には歓喜の声が響きわたり、盛り上がったイベントになりました。



みんなドキドキ… ビンゴ大会



産大O×クイズ 参加賞GET!



模擬店コンテスト優勝店 大人気!

今年の紅葉祭は昨年同様、規模を縮小して開催しましたが、多くの学生や関係者が参加し、楽しく過ごすことができた一日でした。

学生行事実行委員会の学生たちは今まで以上にさまざまなアイデアを出し合い、企画から運営まで一貫して学園祭を盛り上げるべく奮闘していました。

この学園祭が大学生活の良い思い出の一つになったと思います。

来年は、一般のお客様にもお越しいただき、盛大な学園祭が実施できることを願っています。



写真部の作品展示



軽音楽部のライブ

部活動・サークル活動

部活動・サークル活動参加の満足度 (2つまで)

回答	回答率
1: 友人・居場所を得た	30.2%
2: 知識・教養・技術が身に付いた	20.7%
3: 人格形成に役立った	13.6%
4: 技術の向上と大会に参加できた	15.3%
5: 愛校心、帰属意識が高まった	2.5%
6: 社会貢献ができた	5.0%
7: 健康増進に役立った	4.1%
8: 満足感を持てなかった	7.0%
9: その他	1.6%
Totals	100.0%

部活動・サークル活動に参加している目的 (2つまで)

回答	回答率
1: 友人を得るため	14.1%
2: 知識・教養・技術を身につけるため	20.5%
3: 趣味と一致しているから	18.9%
4: 学生生活を楽しむため	22.9%
5: 教職員・友人との交流を深めるため	4.0%
6: 居場所の確保	0.4%
7: 友人・先輩が参加しているから	2.8%
8: 大会に参加するため	10.0%
9: 参加しないと孤立するから	0.8%
10: 就職に有利だから	5.6%
Totals	100.0%

令和4年10月に学生生活アンケートを実施しました。その中の部活動関係について、一部を紹介いたします。

部活動・サークル活動

上記のアンケート結果から、部活動やサークル活動をとおして仲間を大切にしている人が多いように見受けられます。また、人とのつながりを深めながら技術や知識を積み重ね、人間形成にも役立っていることがうかがえます。



5月22日(日)、本学の体育館にて「第48回 北信越学生空手道選手権大会」が開催されました。
本学で開催することから新型コロナウイルス感染症の対策を念入りに行いながら学生と顧問で準備を進めてきました。
本学空手道部は個人戦に出場しました。小柳翔主将(3年)は組手で準優勝、部員の小川虎太郎(2年)は形で優勝し、6月に開催されるインカレ(姫路市)への出場を決めました。
日々の練習を積み重ね、次年度も大会優勝目指して頑張つてほしいと思います。

空手道部 北信越大会 優勝・準優勝



10月30日(日)、北信越大学サッカーリーグ2部のリーグ戦が終了しました。
結果は、10勝1分0敗で2部優勝し、1部への昇格が決まりました。
壬生大空海(2年)が得点王(18点)に、橋岡尚(2年)がアシスト王(11ポイント)になり、2部リーグの最優秀選手に藤本千輝(1年)が選出されました。さらには、フェアプレー賞も受賞し、今シーズン有終の美を飾りました。
毎日(月曜日のみオフ)、朝6時から8時まで練習を積み重ねてきた成果です。
サッカー部の今後の活躍を期待しています。

サッカー部 2部優勝・1部昇格



8月30日(火)から9月1日(木)に開催された「第98回 日本学生選手権水泳競技大会水球競技」(インカレ)に出場しました。
本学水球部が創部されて以来、30年連続インカレに出場しており、本学水球部の伝統となっています。
これは日々練習を重ねている成果と言えます。
水球部の目標は、インカレ優勝です。これからもこの目標に向かって練習を重ね、精進していきたいと思えます。
皆さま、どうぞ応援のほどよろしくお願いたします。

水球部 インカレ出場

産大の授業にフォーカス

今回フォーカスする授業は「東洋史」です。

「ユーラシア財団 from Asia から」

助成を受けた東洋史講座

教授 金 光林

令和4年度「東洋史」（教養科目）は、一般社団法人ユーラシア財団 from Asia の助成事業として開講されました。日本国内外から16名の講師を迎えて、オムニバス形式の授業を展開しました。

1 回目は東アジアにおける民族と国家・東アジア文明の特徴、2 回目は東アジアにおける共同体、3 回目はユーラシア大陸の自然環境、4 回目は東アジアの文明の古層―東アジア「道文化圏」の形成とその精神的価値―、5 回目はアジアにおける仏教美術の地域的特色、6 回目は中央アジアと東アジアの関係―その過去と現在―、7 回目は近現代におけるモンゴル世界の多様化、8 回目はベトナムの文字―チュノム（字喃）の世界―、9 回目は東アジア世界における交流の様相―中国を見据えた韓半島・朝鮮半島と日本―、10 回目は東アジアとは、11 回目は東アジアにおける多元文化の共生―現代韓国社会における「儒教文化」―、12 回目は建築設計から見る東アジアの建築と文化、13 回目は東アジアにおける持続可能な発展と環境問題、14 回目は現代の東

アジアにおける人の移動―シベリアの朝鮮労働者を中心に―、15 回目は真理の探究、16 回目は東アジアにおける「人的・文化的交流」の現状と課題であり、東アジアの歴史・文明・自然・環境について幅広い内容を教えることができました。

授業は日本語を中心に行いましたが、カザフスタンと中国の講師が英語で授業を行うなど、学生にとってはよい刺激となったのではないかと思います。

当初は海外から実際に本学へお招きし、対面での講義を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響を受け Zoom を使った授業となりました。本学の学生108名と市民聴講生6名が履修をし、オムニバス形式による授業は大変好評を得ました。

東洋史は令和5年度も同財団の助成事業として開講されることとなり、より一層進化した授業を目指します。



（写真上…ユーラシア財団首席研究員鄭氏との一枚、写真下…早稲田大学李教授の講義の様子（第14回講義））

教員にフォーカス

二人の先生にあれこれ聞いてみました。

阿部 雅明（教授 経済学部長）

ミクロ経済学や開発経済学などを担当。普段の授業では物腰の柔らかい優しいイメージの先生ですが、専門ゼミでは学生と一緒に稲作をしているパワフルな一面をもつ先生です。
印象に残っている出来事は？

2008年から学生とともに地域通貨流通活動が続けていますが、一度だけ、活動を終わりにしようと考えたことがあります。

学生もやっと大変な作業から解放されると喜ぶかと思つたのですが、逆にここでやめたらダメだと説得されました。継続することの大切さを学生から教えてもらいました。

大学で学んでほしいことは？

国際社会の大きな動きの中で、地域社会も大きく変化しており、従来の知識はあつという間に陳腐化します。大学では知識の習得も大事ですが、急激な時代の変化に対応できる「柔軟なものの考え方」を身につけてほしいと思います。



（写真は高柳町萩ノ島で田植えをする前の阿部ゼミ集合写真（上段左端…阿部先生））

上野 るみ（専任講師）

留学生を対象に日本語の授業を担当。チューター活動（※）では、留学生と日本人の橋渡し役を行い、日本の文化を楽しく教えています。その場が明るく楽しくなる力をもつ、とてもチャームिंगな先生です。

新潟産業大学の特色といえは？

様々な国籍の留学生在が在籍していること、そして、留学生を支援する日本人学生、チューターたちが非常に活発に活動していることです。

大学で学んでほしいことは？

日本人学生、留学生ともに交流を通して文化や習慣の違いを知り、自分と異なる他を受け入れ理解すること、互いに尊重し思い遣ることを学んでほしいと思います。他を知ることによって自己をより深く理解し、視野を広げることが出来ます。それは多様性を理解し、受け入れる基本的な考えを身につけるために必要なことです。その学びは多様性の尊重が求められる現代の社会に出るための準備にもなると思います。

※チューター

留学生が日本での大学生活に慣れるための手助けをし、日本語能力向上の支援や、日本人学生との交流促進を目的とした活動を行う学生



（写真はチューター主催イベントで日本の遊びを教えている様子（中央…上野先生））

橋本 次郎教授のオススメ本



『超約版 貞観政要』

呉兢(原作) / 夏川賀央 (訳) / ウェッジ

中国王朝の第2代皇帝・太宗が語ってきた言葉をまとめた非常に有名な書です。中国古典が教えるマネジメントの要諦、リーダーとしてあるべき手本について、時代や立場を超えて読み続けられてきた書です。

先生方の オススメの本を 教えてください

Part IV

※本学図書館に所蔵されていない本は、公共図書館で借りることが出来ます。各図書館ホームページで検索してみてください!

小林 健彦教授のオススメ本

『北条政子』

永井路子(著) / 文藝春秋 (文春文庫)



鎌倉殿の13人の原作の1つです。平安時代の終わり、鎌倉時代の初めに生きた女性の物語です。当時、女性の社会的地位の高かったことが分かります。夫である源頼朝の女性関係に悩まされる姿から、そのことがうかがえます。

茶房早稲田文庫

片岡直樹

井伏鱒二・小沼丹・五木寛之らの作家や新庄嘉章(仏文)・紅野敏郎(日文)らの文学者が愛好したことで知られるこの店は、昭和二十年(一九四五)、空襲で焼野原となった土地に民芸風の家を建てた富安龍雄氏が、土間の壁いっぺいに棚を設けて「早稲田文庫」と称し、本に飢えていた当時の学生たちに蔵書を利用させたのがはじまりという。

のちに改装され喫茶店となってからも店内の書棚には明治・大正時代の作家の初版本が並んでいた。私はこの「茶房」で学生時代の半分の時間を過ごした。というのも「茶房」はいくつかの学生サークルのたまり場となっていて授業の終わりにはずいぶん顔を出したし、一限が休講のときはここで珈琲を一杯注文し、結局あとの授業も自主休講して、麻雀の面子(メンツ)がそろろう夕刻になってようやく腰を上げることもしばしばだったからだ(ちなみにこの数年前まで産大のU先生は近所の雀荘でアルバイトをしていたそう)。

店内には数人で談笑する学生あり、サークルの勉強会をする学生あり。十円玉を入れてかけるピンク電話の横にはサークルごとの連絡帳が置かれていて仲間との待ち合わせや連絡事項を書き込む。ケータインなどなかったあの頃。そしていつも必ずいたのが店の片隅で煙草をくゆらせながら読書にふける学生。

この「茶房」は昭和五十九年に惜しまれつつ閉店した。当時学生アルバイトが高じて店のスタッフとなっていたKさんに一年半ぶりに会った。Kさんは店の雰囲気や味を継承し、吉祥寺で「茶房武蔵野文庫」のマスターをしている。我々の兄貴分だったKさんも七十を越えた。「ケータインもいんだけど、店を本を開くお客さんを見ると、なにかホッとするんだよな」とKさん。そういえばゆっくり本が読める喫茶店はめつり少なくなつた。

(新潟産業大学教授・図書館長)

【本学のオンラインへの取り組み】

利用案内動画をホームページに掲載
(利用ガイダンス代替として利用を検討)

電子ジャーナル・ブックへのアクセス方法を
ポータルサイト経由の認証方式へ変更

電子書籍のリモートアクセスへの対応
書籍タイトル数の充実

電子ジャーナルの
リモートアクセスへの対応

電子雑誌の導入 ※館内限定サービス
(法人対応サブスクリプションサービス)

オンラインサービスの取組みについて

図書館サービスが変容してきています。令和二年からいまだに猛威を振り続ける新型コロナウィルス。感染拡大が、経済、教育、文化など社会全般に多大な影響を及ぼしている中、図書館もその禍中で従来の姿からの変化を余儀なくされました。

オンライン授業に伴い、足を運んで利用する図書館から、自宅にいても利用できる図書館へ。私たち図書館スタッフはその対応に迫られ、工夫を進めてまいりました。対面授業の復活により図書館が従来の形に戻るかと思いきや、電子化、オンライン化の流れはさらに加速するばかりで、変化への対応は避けて通ることができません。

その変化の中、附属図書館では左記のような取り組みを行ってきました。今後は、学生のニーズに沿った電子対応資料の選定にも力を入れていきたいと考えています。

オープンキャンパス移動図書館

今年度は、実際に使用しているテキストや参考書、過去の卒業論文のテーマとして取り扱われたジャンルの書籍などを、移動式ワゴン(ブックトラック)に乗せてオープンキャンパスの会場に配架しました。卒業論文のテーマ等、実際に書籍を手にすることで大学での学びの一端をイメージすることが出来たのではないかと思います。



閲覧席の使用方法について

閲覧室における感染症防止対策として、間隔を十分にとるため閲覧席に番号を割り振って座席指定を導入するなど、感染拡大防止に取り組んでまいりました。

現在は、利用者に使用前の席の消毒をお願いしております。次に使用する誰かを思うことで感染拡大を防ぐことが出来ます。利用者のみなさんには引き続きご協力をお願いいたします。

また状況を踏まえ、措置の継続、緩和等の方針を柔軟に検討しながら引き続き快適で安心して利用できる図書館の運営に努めてまいります。

一般の方のご利用について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、現在聴講生を除いて一般の方の図書館利用はご遠慮いただいております。

再開の時期につきましては、決まり次第、本学ホームページ内図書館のお知らせ、または図書館ツイッターアカウントでお知らせいたします。大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

4年生の就職体験談

～後輩へのメッセージ～



経済経営学科4年
阿部 翔晟
(上越市 内定)

私は大学入学当初から地元である上越市での公務員就職を目標にしています。その目標を達成するために、大学での公務員試験対策講座や自宅での学習に励んでいました。しかし、実際に3年生の3月になり就職活動が始まると合同説明会や一般企業の選考が進んでいき、少し焦りの気持ちも出てきました。そこで両親や就職課の先生とも相談し、一般企業での就職活動も公務員試験と同時進行で進めていくことにしました。

まずは、自己分析やSPI対策などから始め、合同説明会や企業説明会に参加しました。就職活動中は就職課を最大限に活用し、面接対策や履歴書添削をしていただきながら、公務員試験の勉強の方も進めていきました。一般企業の選考に関しては、就職課の職員の方との対策の成果もあり、公務員試験の前に内定を頂くことができました。

あとは、「公務員試験だけだ」と意気込んでいましたが、実際は一次試験の筆記試験が合格できるとても不安でした。しかし、最後まで諦めず後悔のないように頑張り抜いた結果、無事に一次試

験を突破することができました。ここで喜んでいてる間もなく、最終選考の面接に向け、日々面接対策をしていきました。その日々の努力が実り、最終的には目標であった公務員就職の内定を勝ち取ることができたと思います。

就職活動は、つらい思いや大変な思いをすることがあると思いますが、周りの方々を頼りつつ、自分の目標を達成できるように、諦めずに頑張ってください。



文化経済学科4年
大橋 ましる
(長岡信用金庫 内定)

私は就職活動で後悔していることがあります。それは就職活動の進め方です。私は3年生の冬頃から合同説明会やインターシップに参加しました。ところが説明会に参加しただけで就職活動が進んでいる気分になっていたので、せっかくな説明会に参加しても、その日に聞いた話をしっかりまとめず、次に活かすことができいていませんでした。その経験を踏まえ、皆さんには説明会に参加した際には、選考に進むか迷っていても、説明された内容の整理と分析を優先することを勧めます。

3月頃は合同説明会に参加する企業や

就活生も多く、どの企業の話聞きに行こうか迷いますが、5月、6月頃になると参加する就活生も減っていく、会場全体にあった企業のブースも半分ほどになります。就職活動は長いようで短く、進むスピードも速いです。だからといって早く終わらせるのが良いとは限りません。就職活動の中で効率的に動くことができるように、選考に進む企業の絞り方や面接、エントリーシートの対策、スケジュール管理など、就職活動に向けた準備がとても大切です。

内定が得られないと焦りや不安が募り、就職活動を辞めたいと思う瞬間が多いと思います。また、日頃から一緒にいる友人でも内定の有無により、お互いに距離を置いてしまうことがあると思います。そういう時こそ、誰かに自分の気持ちを話すことが大切です。就職課に駆け込んだり、友人と選考の進み具合を共有したりすることで、今までの就職活動を見直す機会が作れると思います。

初めて就職活動をする訳ですから、失敗することは当たり前です。気を張りすぎず、自分のペースで頑張ってください。



経済経営学科4年
山口 紫音
(NIPPONペーパーライン 内定)

私は3年生の6月頃から就職活動を始めました。就職の進路はあらかじめ考

えていたので、志望先の会社説明会やインターシップには積極的に参加していました。また、同業他社の説明会や合同企業説明会にも参加し、自分の行きたい業界について知識を深めていくことができ、就職活動は順調だと考えていました。しかし、就職活動を進める中で、なかなか内定がもらえず、志望先が減っていくことで焦りや不安な気持ちになっていきました。しかし、諦めずに就職活動を続けた結果、内定を頂くことができました。

私が就職活動で良かったと思うことは、ゼミナールや部活、アルバイトの経験を、学チカや自己PRに活かすことができたことです。資格試験にも挑戦し合格したことが自分の強みとなり、面接や自己PRで自信を持って話すことができました。後輩の皆さんもゼミナールや部活、アルバイトに限らず皆さんの経験を活かすことで、就職活動に活かすことができると思います。また、就職活動をする上で大切なことは、周りの人を頼ることだと思っています。私は、就職課に何度も足を運び、就活の相談や面接練習などをしました。内定を頂くことができたのは、就職課の方々や友人の支えがあったからだと思います。不安なときは一人で考えず、就職課の方々や周りの人に頼って欲しいと思います。

最後に、就職活動はうまくいかないことが多々あると思います。自分の目指す進路に向けて後悔のないよう、諦めずに頑張ってください。

令和4年度の就職状況について



採用活動の早期化と就職支援の取組み

令和5年3月卒の全国大卒求人倍率は1・58倍となり、前年の1・5倍からやや上昇に転じています。コロナ禍での求人倍率は3年続けて低下していたことを踏まえると、「歯止め」がかかったと考えられます。業種別・従業員数別の求人倍率でも、概ね大学生を取り巻く就職環境は「回復しつつある」と言えます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各企業で「オンライン選考」の導入が進んでいます。2023年卒の採用では、81%の企業が「WEB面接(双方向)」を採用(前年は73・4%)しており、「WEBセミナー(説明会)」に関しては、86・5%が採用(前年は68・6%)しています。学生側のインターネット環境の整備は不可欠で、オンライン選考は今後も継続すると考えています。

採用活動の早期化も顕著です。政府は3年次3月以降を「就活解禁」としていますが、2023年卒採用において3年次12月以前に選考を開始した企

業は6・7%(前年は5・0%)となり、選考の早期化は更に進むと予想しています。

コロナ禍(三密回避)がもたらす経済活動の変化(オンライン・分散・DX化による生産性向上)は、求める職種(事務・経理職の求人減、情報系職の求人増)にも反映されています。

令和4年度から就職支援として、夏のインターシシップ参加を見据えて春学期に主要な就職セミナーを集中させる一方、IT・情報通信分野の求人に対応できるように、WEB視聴による「ITパスポート検定対策講座」を新設しました。また、キャリアナビルームにオンライン選考に対応できるインターネット環境を整えています。

本学の強みは、学生と教職員との距離が近いことです。学生の個性や意思を尊重した上で、丁寧な就職支援を行っています。「内定はゴールではなく、スタートラインに立つこと」という認識を学生と共有し、卒業後を見据えた労働法やワークルールのセミナーにも力を入れています。

令和4年度の就職内定状況

令和4年度の就職内定状況

本学の就職内定状況 (令和5年1月末現在)

		経済学部		
		男子	女子	合計
今年度	内定率 (%)	90.3	92.3	90.6
	内定者数	65	12	77
	上場企業内定率 (%)	5.0	8.3	5.6
	上場企業内定者数	3	1	4
	内定者数(自営他除く)	60	12	72
	就職希望率 (%)	96.0	76.5	92.4
	就職希望者数	72	13	85
	卒業予定者	75	17	92

注：外国人留学生・社会人を除く
 内定率 (%) = 内定者数 ÷ 就職希望者数
 就職希望率 (%) = 就職希望者数 ÷ 卒業予定者数
 上場企業内定率 (%) = 上場企業内定者数 ÷ { 全内定者数 - 公務員合格者数 + 個人経営家業内定者数 }

主な就職内定先 (令和5年1月末現在)

業種	内定先企業名
農業・林業	(有) トップリバー
建設業	第一建設工業(株)、アルス(株)、オムニテック(株)
製造業	(株)南雲製作所、(株)メイケン、大野精工(株)、大和冷機工業(株)、DXアンテナ(株)、三陽工業(株)、(株)テック長沢、北越化成(株)、フタバフォーム印刷(株)、シマト工業(株)
電気・ガス・熱供給・水道業	(株) INPEX パイプライン
情報通信業	(株)ソフトシステム、関越ソフトウェア(株)、(株)カシックス
運輸業・郵便業	(株)リンコーコーポレーション、アチハ(株)、(株)マルニコーポレーション、越後交通(株)、(株)新潟食品運輸
卸売業	(株)イシザカ、渡辺パイプ(株)、クロスウィルメディカル(株)、柏印柏崎青果(株)、近藤産業(株)、新潟県酒類販売(株)、(株)デンセン、総合食品エスイー(株)新潟営業所、昭和電機産業(株)、カナカン(株)、(株)たかだ、伊丹産業(株)
小売業	(株)アイエーオートバックス、スカイグループ、(株)クスリのアオキ、(株)きものブレイク、北信越ジョーシン(株)、ネットヨタ越後(株)、(株)オーシャンシステム、(株)星光堂薬局、プリジストンリテールジャパン(株)、(株)アルファ
金融業・保険業	糸魚川信用組合、長岡信用金庫、新潟県農業共済組合
不動産・物品賃貸業	植木不動産(株)、(株)リビングギャラリー
専門サービス業	(税) ツチダ会計
生活関連サービス業・娯楽業	ワタナベグループ
医療・福祉	(福) 柏崎刈羽福祉事業協会、(福) 中野区福祉サービス事業団
他に分類されないサービス業	(一社) 日本自動車連盟 (JAF)、(株)エイジェック、刈共(株)
地方公務・国家公務	愛知県警察、上越市、長岡市消防本部、新潟県警察、大阪府警察



地域貢献活動 レポート

「3年ぶり」に開催の地域イベントに精力的に参加

令和4年度に入って、地域の祭りやイベントが次々と「3年ぶり」の開催を果たし、この間、地域での活動再開を待ち焦がれていた学生たちは、精力的に様々な場に出向き、地域の方との交流を深めました。

毎年6月14～16日に開催される柏崎の一大イベント「えんま市」も様々な対策を講じた上で開催され、権田ゼミナール（まちづくり・地方行政分野）の学生が中心となって、産大のブースを出店しました。昨年度から産学官連携事業として取り組んできた市内企業とのコラボ商品の販売やPR、子ども向けの「糸引きくじ」など、若者らしいアイデアを凝らした、活気溢れる出店で会場を盛り上げました。

また、9月には史跡「飯塚邸」を会場とした「たかだ竹あかり」イベントに準備段階から参加しました。市内の荒れた竹林を整備して作った2000本以上の竹灯籠を点灯すると、夜には幻想的なあかりが庭園に広がりました。

イベント会場には、卒業生やこれまでの地域連携活動でお世話になった方々も多く駆けつけ、参加学生たちに温かい言葉を掛けていただきました。学生らと地域の方々、ともに地域ににぎわいが蘇りつつあることを喜び合う姿が印象的でした。

新年度には子どもたちや年配者との交流機会も増やし、これまで以上に「人と人のつながり」の中で多くのことを学んでいきたいと思います。



「たかだ竹あかり」飯塚邸会場の様子



えんま市での出店の様子

産大×原酒造&阿部酒造「地元酒蔵の魅力と日本酒の新しい楽しみ方を再発見」

附属柏崎研究所は11月12日、26日の2回シリーズで第5回柏崎学シンポジウムを開催しました。テーマは「歴史文化の拠点、地元酒蔵の魅力を学ぶ」です。シンポジウムは各回とも前半に酒蔵やお酒について学ぶ「蔵元シンポジウム」と後半の「日本酒とフレンチの組み合わせ体験」で構成されています。

第1回目は原酒造を会場に県醸造試験場の金桶光起場長より「新潟の日本酒」と題した講演及び蔵元の原吉隆社長からは蔵の歴史や酒づくりについて、またフレンチの鉄人小早川陽青氏からはフレンチと日本酒の可能性についてのお話があり、参加者は興味深く聞いていました。後半はザ・シャンカールに会場を移し、地域色豊かなフレンチとひやおろし等蔵酒とのマリアージュを楽しみました。（参加者20名）

第2回目は阿部酒造を会場に金桶場長より「日本酒の美味しさ」と題した講演及び阿部裕太六代目蔵元からは酒づくりについて、また松蔭大学の古賀学教授からは酒文化と観光の可能性についてお話があり、会場から質問が出るなど熱気が感じられるシンポジウムとなりました。後半は、キッチン105で、西村シェフ渾身の地産フレンチとレグルス等蔵酒とのマリアージュを満喫し、大いに盛り上がりました。（参加者19名）

原酒造の「飲む人の苦楽に寄り添う幸せを呼ぶ酒」づくり、阿部酒造の「発酵を楽しむ、圧倒的にうまい酒を醸す」企業理念に改めて先ず情緒があつて、ものづくりが進む姿に強く感銘を受けました。



キッチン105会場



梅比良学長の開会挨拶

留学生が総合的な学習の時間に参加しました

柏崎市立北条小学校5年生の総合的な学習の時間では柏崎市へ移住してきた方々へインタビューを行い、児童が自分達の住むまちについての考えを深める活動を行っています。

この度、本学のムハンマドアブドルカリムモンタナロさん（インドネシア出身）が外国人の視点から柏崎市の魅力を話し、児童からの質問に答えました。両者にとって学びが多く、貴重な時間となりました。



北条小での交流事業

生涯学習事業・聴講講座等のご案内

本学「聴講講座」は、一般の方々や年齢や学歴に関係なく学生たちと一緒に大学の授業を気軽に受講できる制度です。

また、「生涯学習友の会」は、生涯学習事業を支援し、実り多い生涯学習の実現を図るとともに会員相互の親睦を深めることを目的とする会員制度です。

聴講講座の申込や友の会の入会は、毎学期はじめに募集しておりますので、ご興味のある方はぜひお申し込みください。

友の会年会費 二千元

※入会后、聴講講座受講料が

1科目 二千元引き

（通常1科目15週で二万円）

【お問い合わせ先】

新潟産業大学地域連携センター事務局

TEL 0257(24)8441

e-mail: renkei@ada.nsu.ac.jp



授業をはじめとする大学生活のすべてがフルオンラインで完結する「ネットの大学managara（経済学部経済経営学科通信教育課程）」は開設より2年目を迎え、550名を超える学生が全国各地でそれぞれのライフスタイルに合わせて学びを進めています。

今回は今年度のトピックスのほか、managaraで学ぶ学生の声をご紹介します。

トピックス

★オフライン交流会を実施

「フルオンライン完結」とはいえ、「実際にキャンパスに行ってみよう！」「仲間や先生方と会いたい」という学生の声を受け、初のオフライン交流会を実施。全国各地から柏崎に学生が集まり、屋外でのランチ交流会や大学での教員との交流会、柏崎観光を楽しみました。

入学後ずっとオンラインで交流している仲間とのオフラインでの交流、普段は画面越しで授業を受けている先生方と実際にお会いできたこと、初めて足を踏み入れる大学の広大な敷地……。多くの刺激を受け、学生は地元に戻っていきま



★「すごい大学展Vol.2

「未来の大学進学を考える」に登壇

「偏差値にとらわれない新しい学びのカタチ」をテーマに、フルオンラインのメリットを生かして学ぶ地域イノベーターコースの学生と一緒に登壇しました。

地元を飛び出し地方に移住し、移住先の地域課題の解決に向けてプロジェクトを進めている学生が、現在進めているプロジェクトの様子やこれからの展望を話してくれました。

※地域イノベーターコース・フルオンラインならではの時間と場所の自由度の高さを生かし、地域をキャンパスに、地域を巡り「暮らしながら」学ぶコース。



★第2回managara祭(学園祭)を開催

今年度のスローガンは「カッキテキ×カッキテキ」。画期的なデジタルキャンパスの大学で参加者が活発的に過ごせるお祭りにならしたいとの、学生運営メンバーの想いが込められています。

教育YouTuberの葉一さんをゲストに迎えたトークライブのほか、学生が各

managaraDays — 学生の声 —

ネットの大学 managara で学ぶ学生の声を一部ご紹介いたします！



関口 響仁さん(スタンダードコース)

スタンダードコースには、スタディコーチによる学生のライフスタイルや目標に合わせたサポートや学生同士がオンライン上で集まって学修を進めるオンラインクラスがあります。プロジェクト型学習(PBL)では地方創生の課題に仲間とチャレンジ！先生からも褒めていただいて、リーダーとして頑張った甲斐がありました。将来は学んだことを活かして観光業界で経営や運営に携わり、地元貢献したいです。



© OITA F.C.

弓場 将輝さん(ベーシックコース・リリーガー)

セカンドキャリアを鑑みると、「高卒」の肩書だと大変だとわかっていました。managaraは講義が1回約10分という設計なので、遠征中などの移動時間で学修を進められます。試合日の前後はサッカーに集中、練習のみの日とオフの日に学修を進めるというルーティンにしています。今後の目標はまずはサッカー選手として日本代表に選ばれること、そして将来はサッカーに限らず、経営者としてチャレンジしたいと思っています。



中村 文彦さん(ベーシックコース・美容室経営)

美容の世界に飛び込み27歳で店を任されて以来、日々がむしゃらに働いてきました。経営を肌で感じながらここまでできましたが、今後は肌感覚だけではなく、理論的な話ができるのではと思っています。今は息子や娘と一緒に机に向かっています。仕事の忙しさや難易度によって受講する内容を選べる自由があるのもいいですね。仕事との両立は大変ですが、家族はもちろん、お客様にも応援していただいています。学びながら気づきを得て、自分の武器にしていきたいですね。



ポスター



マスコット選手権



集合写真



ゲストトーク

オンラインでオープンキャンパスを開催しています。

詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ先「ネットの大学managara 教育相談室」

Tel: 0120 (836) 047

E-mail: managara_nyushi@ada.nsu.ac.jp



managara Days

続々更新中!

こちらから
ご覧ください



INFORMATION

学生広報チームが様々な情報を発信しています

ゼミや部活動、学内イベント、学生の日常など本学の魅力を学生の目線で積極的に取材し、SNSで発信しています。ぜひご覧ください。



Twitter

@NSU_gakuseikoho



Instagram

nsu_gakuseikoho



春の特別オープンキャンパスを開催します

【開催日】

令和5年3月25日(土)

内容

- ・学部、学科概要説明
- ・入試、奨学制度概要説明
- ・キャンパスツアー
- ・在学生とのフリートークなど

※最新の情報は本学ホームページをご覧ください。
4月以降の日程も随時更新予定です。



お申し込み・お問合せ ☎0120-787-124 (入試・広報課)

本学独自

給付型奨学金

愛称：シン・スリーブルー

を新設しました

- ◎返還不要
- ◎原則4年間給付を継続
- ◎年間30万円(4年間で120万円)の給付型奨学金

※申請には世帯収入、もしくは保有する資格検定等の条件がございます。詳しくは本学HPをご確認、または入試・広報課までお問い合わせください。



表紙の写真「ほの灯りの魔力」

この写真は、本学写真部で活動する文化経済学科1年の本田翔大さんの作品です。また、写っている女性も本学写真部に所属する、文化経済学科2年の阿達舞華さんです。「2022年9月、3年ぶりに開催された『たかだ竹あかり』にお邪魔させていただいた際に撮った写真です。ほのかな灯りを放つ竹灯籠に囲まれた浴衣姿に、どこかいつも見ている日常の姿とはかけ離れた魔力のようなものを感じ、気がつく写真に収めていました。」とコメントを寄せてくれました。

学事日程 (2023年4月～9月)

月	日	行 事 等
4月	1日(土) 1日(土)～4日(火) 3日(月)・4日(火) 5日(水)	入学式 履修登録期間(新入生) ガイダンス・健康診断 授業開始
5月		
6月	2日(金) 10日(土)	創立記念日授業日 個別面談・父母の会総会(予定)
7月	20日(木) 25日(火)・26日(水) 27日(木)～8月2日(水)	地域理解ゼミナール合同発表会(2年生) 補講日 春学期定期試験期間
8月	3日(木) 4日(金) 9日(水)・10日(木) 16日(水)～31日(木)	試験予備日 学生夏季休業開始 追試験 集中講義期間
9月	4日(月) 15日(金)～20日(水) 21日(木) 29日(金)	秋学期卒業生発表・成績発表 履修登録期間 授業開始 9月卒業式

新潟産業大学基金 ご支援のお願い

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。いただきましたご寄付は、「地域社会や企業を主体的に支える人材の育成」という本学のミッション達成のために活用させていただきます。何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。

(担当窓口 新潟産業大学 総務課 Tel.0257-24-6655 E-mail:soumu@ada.nsu.ac.jp)



青海波(せいがいは)

無限に広がる穏やかな波に未来永劫と平和な暮らしへの願いが込められた文様。

この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章(3つの波)に重ね合わせ、地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

発行日/令和5年2月

編集・発行/新潟産業大学 新潟県柏崎市軽井川4730番地

TEL0257-24-6655 FAX0257-22-1300 <https://www.nsu.ac.jp/>